



No. **185**

令和6年1月31日号

信濃町議会だより



**国土交通省事務次官に
野尻バイパス
早期完成要望書
提出!**

第421回定例会 10～12月会議

議長あいさつ	1	委員会報告	12
条例改正・補正	2～3	追悼・ぎかい活動365日	13～14
請願・陳情	4	わたしの出番	15
一般質問	5～9	ぎかい俳句五七五	15
全員協議会から	10		
意見交換会報告	11		

発行/信濃町議会 発行責任者/佐藤 武雄
編集/議会広報調査特別委員会
〒389-1392 長野県上水内郡信濃町柏原428-2
TEL(026)255-2212
印刷/(社福) ながのコロニー長野福祉工場

令和6年第422回 定例会スタート

会期349日間 1月5日から 12月18日の間



新年の ごあいさつ

信濃町議会議長
佐藤 武雄

町民の皆様、あけましておめでとうございます。日頃より、町議会に對しまして、温かいご理解と絶大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、1月1日午後4

心よりお祈り申し上げます。議会といたしまして、もできる限りの支援をしていく所存であります。今年も町議会では、住民生活に直結する多くの問題を解決していくために、町行政と切磋琢磨しながら、変わらぬ緊張感のなかで、お互いに二元代表制をしっかり認識しながら、議会の活性化及び議会運営に積極的に取り組み、住民からの信頼にこたえられるよう努めてまいります。本年が町民の皆様にとりまして最良の年になりますよう祈念申し上げます。念頭の挨拶といたします。



第422回定例会招集

招集あいさつ

信濃町長
鈴木 文雄

第422回信濃町議定例会の招集にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

1月1日の午後4時10分頃に発生いたしました能登半島地震は、最大震度7を記録し、信濃町におきましても震度5弱という大きな揺れを観測いたしました。町では災害警戒本部を速やかに設置し、消防団をはじめとする関係機関との協力体制のもと

で、町内における道路や河川、上下水道などインフラに関する情報収集のほか、一人暮らしの方々の安否確認などを行ったところです。

姉妹都市であります能登町長からは、地震と津波により家屋の倒壊や火災が発生し、停電、断水は復旧の目途が立たないなど、極めて厳しい状況にあるとのお話を伺いました。

被災された皆さんが平穏な日常生活を一日も早く取り戻すことができ、ますよう、所要の支援を継続してまいりますと考えております。

令和5年度一般会計について、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用したプレミアム付商品券の発行に要する経費として、3500万円余の増額補正を提案します。

「能登半島地震」被災地へ

令和6年1月1日午後4時10分、石川県能登半島沖を震源とする最大震度7の地震が起きました。亡くなられた皆様にお悔み申し上げますとともに被災された皆様にお見舞い申し上げます。町では、姉妹都市提携している能登町に連絡を取り、救援物資を1月4日に届けました。また、能登町へのふるさと納税の事務を信濃町で行っています。議会といたしましては、義援金を送りました。



救援物資を被災地へ

第421回定例会10月会議が10月11日に、11月会議が11月21日に、12月会議が12月4日から19日まで、16日間の日程でそれぞれ開きました。10月会議は一般会計補正予算第10号、信濃町立病院事業会計補正予算第6号、11月会議は副議長の選挙・議席の一部変更・北部衛生施設組合議会議員の補欠選挙、12月会議では、条例改正案4議案、一般会計補正予算案2議案、各会計補正予算案7議案、計町長提出案件13議案が全て原案通り可決しました。また、請願1件、陳情2件を審議しました。

なお、12月会議に行われた一般質問は9名が質問に立ち町政をただしました。

条例改正

社会文教常任委員会

信濃町奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に關する条例の一部を改正する条例について

*現行月額5万円の貸与を、月額6万円の貸与とするものです。

Q 1万円増額の根拠は。

A 物価指数が6%上昇していることを考慮しました。
Q 返済期間は伸びるということですか。
A 返済は月額1万5千円としておりますので、返済期間は延びます。
信濃町保育環境あり方検討委員会設置条例の制定について
*保育のあり方、社会連念の変化等もあり、より良い保育環境を構築

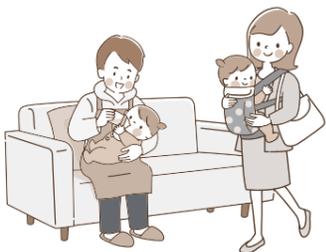


かわいい保育園の運動会

するための検討委員会を設置するための条例制定です。

Q 時限的なものか、恒久的なものか。
A 提言をいただいた段階で、閉じる予定です。その後必要であれば設置を検討します。

Q 町立保育園4園のあり方という重いテーマが含まれています。どれくらいの期間で結論を出していくのでしょうか。
A 条例では任期は2年となっておりますが、大事な問題ですので、2年あ



りきで検討するとは、考えていません。
Q 会議内容の公表は。A 公表できる範囲で必要と考えています。

信濃町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

*国保世帯で出産する被保険者の保険税《所得割額・均等割額》を産前産後4ヶ月減免する条例改正です。

Q 減額した分の補填は。A 国1/2県1/4町1/4の公費負担です。
Q 出産予定と出産月がずれた場合は。A 実際の出産月を基準に算定します。

Q 国保税暫定期間中に減免対象となつた場合は。
A 暫定期間に減額対象になつた場合は、暫定金額で減額を行い、本算定で不足分等を調整し課税させていただく形になります。

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

*人事院の勧告による職員の給与改定です。民間と格差があるところから、若年層に重点を置いた俸給の引き上げで、期末手当、勤勉手当を0・025月分引き上げるものです。
特別職（理事者、議員）は給与月額を引き上げず、期末手当を0・1月分引き上げる改定です。

Q 報酬審議会に諮問した内容は。A 常勤の特別職の給与の引き上げは、行わない

副議長

伊藤 博美 議員



という諮問をし、答申では、その結果よろしいといただいています。



森山木の実副議長の逝去に伴い、副議長補欠選挙が行われ伊藤博美議員が当選されました。当議会の副議長は、予算・決算の特別委員長や、広報調査特別委員長を務めます。

また、委員会構成で総務産業副委員長が北村秋敏議員になりました。

補正予算

～主なもの～

一般会計

○歳入では、ふるさと納税の収入見込みに1000万円の増加などが、歳出では、この冬の物価高騰対策として、低所得世帯1軒につき7万円給付(960世帯)による6720万円余と3月開始の商品券事業3511万円などが追加されました。

（歳入）
ふるさと信濃町応援寄付金(ふるさと納税) 1000万円の増
財政調整基金繰入金 2700万円の減
普通交付税 3948万円の増

物価高騰対応臨時交付金 1億170万円の増
※12月会議と1月会議の合算



灯油価格高騰、冬を乗り切れ

（歳出）
ふるさと信濃町応援寄付金推進事業 返礼品ほか 436万円の増

農業用排水路 維持管理事業 ため池耐震点検委託 1562万円の増

物価高騰対応 低所得者支援 6720万円の増

物価高騰対応商品券事業 3511万円の増
ほか

※補正後の一般会計予算 59億8403万円



新病院建設予定地 (12月末)

病院事業会計

（10月会議より）
○9月に実施された病院建設工事の入札において、参加者の希望入札価格がいずれも落札予定価格を上回ったため、設計変更と工事費の大幅な増額補正が行われました。

変更点としては、物価状況に見合った工事予定価格の設定見直しと、地中熱冷暖房設備工事の規模縮小です。

（資本的収入）
企業債 5940万円の増

国庫補助金(地中熱) 1815万円の減

県補助金(病床機能分化・連携基盤整備事業)^{※1} 1054万円の減

（資本的支出）
新病院新築工事 5104万円の増

地中熱冷暖房設備工事 1736万円の減

（病院事業収益）
入院収益 2200万円の減

介護収益 708万円の減

（病院事業費用）
雑損失(控除できない消費税等) 8092万円の減
ほか

一般病床	200人の減 (-3.6%)
地域包括病床	300人の減 (-6.7%)
医療療養病床	300人の減 (-5.2%)
介護療養病床	600人の減 (-11.0%)
※補正後の病床利用率 56%	

請願・陳情

補聴器購入に公的補助制度を求める請願書

〈請願者〉

全日本年金者組合

信濃町支部

代表者 宮川 君男

紹介議員 永原 和男

(採択)

反対討論

酒井 聡議員

難聴の発症は、認知症に至るリスクが高いため、平成30年度から補聴器相談員の処方による補聴器購入は、確定申告の医療費控除の対象に付け加えられています。

私は、趣旨そのものには同意ですが、新たな、かつ重要な補助制度創設は、ある程度の調査と研究を要すべきで、「令和6年度予算において」という一文をもって賛成しかねるものです。

賛成討論

伊藤 博美議員

聞き取りにくいなどの難聴者は年々増えており、日常生活や社会活動に大きな支障となつていきます。

国際アルツハイマー病会議は、認知症の最大の危険因子と指摘し、国の新オレンジプランにおいても難聴が危険因子のひとつとしてあげています。

高齢化が進む中、補聴器の普及で日常生活や社会活動への参加で生活の質を落とさずに認知症予防、医療費の抑制につながります。

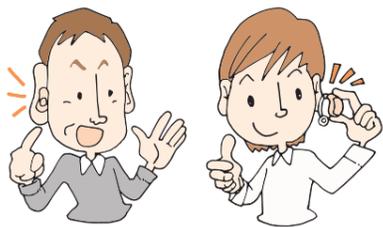
賛成討論

小川 敬史議員

難聴になり30代で補聴器を使用している方に出る機会がありました。

50万以上で高額な為、一生懸命お金を貯めても補聴器代で消えてしまう、これは高齢者だけの問題ではありません。実際に困っている人

の意見を大事にしたいので賛成とします。



介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書提出についての陳情

〈陳情者〉

長野地区

社会保障推進協議会

会長 菅田 敏夫

(不採択)

賛成討論

片野 良之議員

この陳情は、企業種平均賃金から大きく取り残されている現場からの声です。



願意は、自分たちを取り残さないでほしいと訴えています。そのために政府へ声を届けてほしいとしているものです。

民意を受けてこの場にいる議員諸氏に伺います。あなたは誰のためにこの場にいますか。民意を受けてこの場にいる以上、民意に寄り添うことを思い出して、賛成しようではありませんか。

町商工業振興に関する陳情書

〈陳情者〉

信濃町商工会

会長 間瀬 一朗

(採択)

第421回定例会12月会議 議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成 ●反対 / 病気・公務出張等により欠席・議決に参加しない (―)

議案番号	議案の内容(要約)	審議結果	北村富貴夫	北村秋敏	小川敬史	片野良之	佐藤博一	酒井聡	永原和男	青柳秀吉	湊喜一	伊藤博美	佐藤武雄
請願6号	補聴器購入に公的補助制度を求める請願書	採択	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情5号	介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書提出についての陳情	不採択	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全会一致の案件についてはホームページにてご確認をお願いします。

信濃町議会 検索



質問 みどりの食料システム戦略について、町はどのような取り組みをされているのか。

町長 県等が主催する研修会に参加し、有機農業の推進やみどり戦略交付金の活用について、情報



北村 秋敏 議員 みどり戦略に どう取り組むか 町長 農業者との 情報共有に努めたい

産業観光課長 酪農家の状況については現在2軒となっています。搬入量は、平成22年が9781tでピークで、令和4年度は4865tです。建設から19

質問 町内の堆肥センターの現状と今後について。

産業観光課長 酪農家の状況については現在2軒となっています。搬入量は、平成22年が9781tでピークで、令和4年度は4865tです。建設から19

収集や活用方法を検討しているところです。今後は信濃町の農業の現状や将来的な方向性に即した講演会などを企画し、農業者との情報共有に努めたいと考えています。

質問 有機農業実施計画作成のための補助金の取り組みは。

産業観光課長 有機農業の実施計画で一千万円の交付金があることは存じています。現在その前段として、有機農業への理解を深め研修会、講習会等を実施して情報提供していきます。まだ実施計画策定までには到っていません。



老朽化が進んでいる堆肥センター

年間ほど経過し、建物・機械設備等の老朽化が進み、毎年の修繕費がかさんでいます。老朽化した機械の最小限維持更新を視野に入れ、堆肥の需要状況を、指定管理のJAさんとも引き続き今後の方向性を確認していきます。

来年度の保育園体制
質問 来年度の保育園体制について。

教育長 野尻保育園を含めて来年度は4園体制でやっていく方向で現在準備を進めております。

質問 物価高が続き、燃料費は高騰して、福祉灯油を実施する町の基準を大きく超えています。福祉灯油の実施は。

町長 現在、国及び県の給付制度について検討がなされているので、その状況を見ながら、国や県の事業制度の内容を見定めて、対応を定めます。

質問 国県の制度ではなく、町で単独でもやった過去がある。国県からの支援が来た段階でやるのは当然ですが、町単と

質問 物価高が続き、燃料費は高騰して、福祉灯油を実施する町の基準を大きく超えています。福祉灯油の実施は。

町長 現在、国及び県の給付制度について検討がなされているので、その状況を見ながら、国や県の事業制度の内容を見定めて、対応を定めます。

質問 国県の制度ではなく、町で単独でもやった過去がある。国県からの支援が来た段階でやるのは当然ですが、町単と



片野 良之 議員 福祉灯油の実施は 町長 国や県の内容を 見定めて

してでもやっていただきたい。

町長 その意味を本当に理解していますが、大変厳しい財政状況の中で、財源確保していくのも厳しい状況です。

質問 多くの町民があえていいます。非課税ではなくても、それに近い経済状態の世帯や高齢者世帯、一人親の子育て世帯にも支援の検討をしていただきたい。

住民福祉課長 国の施策の中で、子育て世帯、また住民税非課税、所得割非課税世帯といった部分の制度の中で取り組まさせていただきます。

してでもやっていただきたい。

町長 その意味を本当に理解していますが、大変厳しい財政状況の中で、財源確保していくのも厳しい状況です。

質問 多くの町民があえていいます。非課税ではなくても、それに近い経済状態の世帯や高齢者世帯、一人親の子育て世帯にも支援の検討をしていただきたい。

住民福祉課長 国の施策の中で、子育て世帯、また住民税非課税、所得割非課税世帯といった部分の制度の中で取り組まさせていただきます。

してでもやっていただきたい。

町長 その意味を本当に理解していますが、大変厳しい財政状況の中で、財源確保していくのも厳しい状況です。

質問 多くの町民があえていいます。非課税ではなくても、それに近い経済状態の世帯や高齢者世帯、一人親の子育て世帯にも支援の検討をしていただきたい。

住民福祉課長 国の施策の中で、子育て世帯、また住民税非課税、所得割非課税世帯といった部分の制度の中で取り組まさせていただきます。



貴重な灯油

質問 灯油を買いに行ける方がいいが、交通手段が無かったり、体が不自由で買いに行けない方は配達に頼らざるを得ない。その辺をしっかりとカバーしていただきたい。

住民福祉課長 配達業者との契約や細かな調整が想定される。そういった細部までは対応できないことを理解いただきたい。

※他にヤード問題、投票率の向上対策について質問しました。

一般質問ズバリ!聞きます!!

一般質問通告一覧

- 酒井 聡 議員**
 - 鈴木町政の1年間を振り返って
 - 町政の今後の課題について
- 北村 秋敏 議員**
 - みどりの食料システム戦略について
 - 住宅リフォーム支援事業の現状と課題について
 - 令和6年度の保育園体制について
- 片野 良之 議員**
 - 環境破壊を防ぐ町の取り組みについて
 - 福祉灯油の実施について
 - 選挙における投票率UPの対策は
- 北村富貴夫 議員**
 - 花粉症対策について
 - ペーパーレス化について
 - 相続登記の申請義務化について
- 伊藤 博美 議員**
 - 人口減少での危機感について
 - 子育て支援に充実した予算を
 - 有機農業について
 - 安全、安心な通学路の確保を
- 永原 和男 議員**
 - 町誌の編さんについて
 - 奨学金制度の見直しについて
 - 5条転用手続きに同意書の添付を求めることについて
 - 令和6年度予算編成について
- 佐藤 博一 議員**
 - 町長の政治姿勢について
- 湊 喜一 議員**
 - 「デジタル田園都市国家構想」により地域の活性化させていくことについて
 - 食品ロス削減の推進について
- 青柳 秀吉 議員**
 - 信越病院関連について



質問 鈴木町政の1年を振り返って、自身の評価を伺います。

町長 「コロナ禍からの再生」「子育て支援と高齢者福祉の充実」「地域固有の持ち味を活かす施策の充実」「医療提供体制



酒井 聡 議員 野尻保育園の 来年度開園は 教育長 4園体制で行う 準備を進めています

質問 「2020

補助を行っていますが、灯油価格など町独自の対策は打てますか。

町長 物価高騰対応の臨時交付金での対応と、非課税世帯等が対象の国からの追加給付など、具体的な内容が定まってきたら対応したいと考えています。

制の強化」の4点を目標に掲げてきました。いずれも及第点ではありませんが、一定の成果は感じています。

質問 野尻保育園の休園は大きなニュースとなりましたが、来年度の見込みはどうですか。

教育長 従前の4園体制で行うこととして、準備を進めています。

質問 この冬は、昨年以上のエネルギー価格高騰が危惧されます。国はガソリンを軸に補助を行っていますが、灯油価格など町独自の対策は打てますか。

町長 物価高騰対応の臨時交付金での対応と、非課税世帯等が対象の国からの追加給付など、具体的な内容が定まってきたら対応したいと考えています。

制の強化」の4点を目標に掲げてきました。いずれも及第点ではありませんが、一定の成果は感じています。

質問 野尻保育園の休園は大きなニュースとなりましたが、来年度の見込みはどうですか。

教育長 従前の4園体制で行うこととして、準備を進めています。

質問 この冬は、昨年以上のエネルギー価格高騰が危惧されます。国はガソリンを軸に補助を行っていますが、灯油価格など町独自の対策は打てますか。

町長 物価高騰対応の臨時交付金での対応と、非課税世帯等が対象の国からの追加給付など、具体的な内容が定まってきたら対応したいと考えています。



にぎやかな声再び、再開を待つ野尻保育園

4年問題」で、時間外労働の規制猶予期間が終了します。

また、公共交通機関や建設業界でも働き手不足が生じていますが、町としての対応策は。

町長 路線バスは便数の調整を検討しており、デマンドタクシーは運行形態を見直す予定です。

公共工事につきましては、早期発注などに努め、病院建設などの大きな工事も国の基準に適切したいと考えています。

北村 富貴夫議員

花粉症対策は 町長 総合的な対策で 軽減と期待をしています



質問 無花粉杉がどのくらい植林されたのですか。
産業観光課長 町内民有林で無花粉杉の植林は、町で確認した部分はありません。

ペーパーレス対策は

質問 庁舎内会計帳簿等、保管場所は十分に確保できていますか。
総務課長 保存期限が過ぎたものについては、原則として焼却処分を行いながら、保管場所を確保

しています。

質問 高齢者の皆さんにパソコン、スマホ等講習会等その後の進展は。
教育次長 内容をもう一度精査し今準備を進めています。
総務課長 長野県の方で誰一人取り残さないデジタル活用支援推進事業を信濃町を会場に実施していただこうと依頼中

です。
質問 新病院の電子カルテは。
事務長 新病院の新情報システムを業者と今後選定していきたいと考えております。
質問 新病院のWi-Fi整備は。
事務長 入院病棟内に設置する予定です。

相続登記申請 義務制度

質問 相続登記の申請義務化は。
事務会計課長 しっかりと対応し、お知らせしていきます。



杉花粉飛来に注意！

一般質問

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成しています。)

永原 和男 議員 介護保険料は 引き上げか 町長 現状では まかないきれない



質問 介護保険料の値上げの必要がありますか。
住民福祉課長 令和6年度から8年度までの計画を策定しています。保険料の引き上げは、やむを得ない状況であります。
質問 町民のみなさん

の生活実態を踏まえて、基金もあるので負担軽減を。
町長 試算をやっていますが、現状の保険料では将来まかないきれません。

町誌の刊行を

質問 町誌の続編を刊行して欲しいという声があります。編纂の作業に着手すべきでは。
町長 町の記録を後世に伝えることは、重要な仕事だと思います。

町の奨学金制度について

質問 町の奨学金制度の利用者が少ない。直近の実績を伺います。
教育次長 現時点では、継続が4人、新規が3人の計7人です。

質問 利用者が少ないのは、他の奨学金と町の



発刊が待たれる町誌

奨学金の両方を、借りることを禁じていることが原因ではないのか。(条例第6条)
教育長 (原因が)他の奨学金との併用が認められない、ということであるかどうかについては申し上げようがありません。
質問 現在の奨学金制度は、家庭でやりくりすれば大学に出せる家庭しか使えない。(併用を禁止している)6条の廃止を。教育長 その指摘は何度もいただいていますので、県や国の動きを見ながら研究していきたい。

一般質問

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成しています。)

伊藤 博美 議員 給食費の値上げは ありますか 教育長 予定はありません



質問 物価の高騰がつづいています。来年度、給食費の値上げはありますか。
教育長 運営委員会に諮問する予定はなく、値上げする予定はありません。

通学路

質問 安全で安心な通学路の確保が必要です。スクールバス発着点の変更を求めます。
教育長 変更できないことではない、安全性を確認し検討してまいります。

有機農業

質問 農水省が進めている有機農業産地作り推進事業が他の町村と比べて一歩遅れていませんか。
産業観光課長 進めていく方向です。交付金もありませんが、一番は農業者の皆さんに理解を得て次のステップに進めばと考えています。

町長 方向性は間違いないと感じています。安心して新しい農業経営の在り方に入っていくような準備をしたいと思います。



安心・安全な通学を

人口減少

質問 人口減少に関するアンケートで信濃町は強く抱えている29町村に入っています。危機感を抱く判断はどこにあったのか。
町長 人口減に歯止めがかからない状況で自治体運営が厳しさを増していることを念頭に、危機感を強く抱いています。

質問 町長に就任して1年余りです。兆しはみえますか。
町長 人口は25年ぶりに社会増となり印象として明るい兆しも感じています。

佐藤 博一 議員 当初の計画に無い 遠出は疑問 町長 折角お声がけを頂いた



質問 姉妹都市に行かれた時の責務をどう考え、今後はどのように繋がりますか。
町長 姉妹都市の能登町、流山市との交流に加え、宮崎県小林市への訪問が当町にとりプラスになると感じました。

質問 いきなりです。招待があったから行くのは簡単なもの、疑問に感じます。
町長 折角の招待を皆さんに相談し判断しました。

観光について

質問 町の独自性をどう考え高め、フィードバックするか、真の観光をどうお考えか。
町長 地域固有の美しい景観、そして歴史や文化など

の有形無形の観光資源に溢れていると認識。自然文化と関っている人々の営みそのものがポイントです。地域の持ち味の再認識、地域の特徴や魅力を町民と共有しての、おもてなしの意識向上、町民の情報発信、周辺とのネットワークの共有が必要だと思います。



黒姫駅の観光・交通のハブ化に期待

一般質問

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成しています。)

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成しています。)

令和5年度 病院再整備事業移転新築信越病院建築工事入札経過

月 日	経過概要	内容
9月22日 (金)	入札(1回目)	不落 参加業者3
	設計変更及び単価再見直し	
10月11日 (水)	信濃町議会10月会議	補正予算 5年度分 5,104万円 債務負担増額 5~6年 24億4千万円
10月13日 (金)	入札公告	
10月31日 (火)	入札(2回目)	落札候補者決定 参加業者2 事後審査型一般競争入札 落札率98.51%
11月1日 (水)	入札参加資格要件調査	
11月6日 (月)	入札参加資格結果通知	
11月13日 (月)	契約	契約額24億350万円 R5.11.13~R7.3.17
12月7日	住民説明会	

工程表

工事名 令和5年度病院再整備事業 移転新築信越病院建築工事
 工期 令和5年11月13日~令和7年3月17日
 事業費 24億350万円 開院予定 令和7年6月

工程\月	R5			R6								R7					
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備工	—																
共通仮設工		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
既存杭撤去工		—	—	—													
地盤改良工				—	—												
基礎工					—	—	—	—									
上部躯体工事						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内装防水工事										—	—	—	—	—	—	—	—
付属棟工事											—	—	—	—	—	—	—
電気・機械設備工												—	—	—	—	—	—

全員協議会から

10月から12月の間、全員協議会は計3回開催しました。新病院の入札経過、整備事業スケジュールなどが協議されました。

一般質問

企業誘致に 国の交付金の活用は

町長 法人税等の 優遇があります



質問 企業誘致を考えた、国の交付金事業を活用し、企業の来やすい環境整備が不可欠であると思います。これは地政学上の整備、また、インフラの整備が必要であると思います。町の現状と今後をお聞かせします。

町長 大都市圏から地方へ移転した場合に、法人税等の優遇税制を受けることができます。総務課長 信濃町企業用地等情報提供制度で、8件の候補地を登録してい

ます。

インターネットには登録されていません。本町の自然や良質な水供給など、これが強みであるだろうと考えておりますので、こういう方面を伸ばしていければと思います。

国の交付金事業を活用する中で、更に成長が見込まれる情報通信産業等必要なデジタルインフラの充実を検討して進めてまいります。

食品ロス削減に

向けて

質問 食品ロスの削減は、気候変動対策としても大変に重要であり、廃棄による影響だけでなく、生産過程各段階でのエネルギー消費など、環



規格外で廃棄された野菜

境に及ぼす影響は決して少なくありません。携帯のアプリ等を活用し飲食店や小売店で閉店間際に残ってしまった料理や総菜等を、消費者とマッチングさせる、フードシェアリングの展開を支援することも有意義かと考えます。住民福祉課長 食品ロスに関しましては、今月の広報の中で4項目に分けて住民の皆様の方に、周知とお願いしたところで、携帯のアプリを活用することで、流通をさせるという点においてても有意義な活動かと思

無断で医師名の使用は 違反では 町長 医師法違反という 指摘はない



質問 入院患者の身体拘束に関する同意書を作る際看護師が無断で医師名を署名、無断で氏名を使われたとありますが医師は患者家族説明も同意書の署名もしていないとい

町長 報道によりまずと長野保健福祉事務所から調査があり、身体拘束に対する指摘がございました。医師法違反との指摘はございませんが是正に向けて速やかに対応し改めて設定します。事務長 診療体制について住民の皆様、議員の皆様にご心配やら懸念をおかけしているところ、事務長としてお詫び申し上げます。質問 身体拘束の問題で保健所は監査に入ったんですか。事務長 報道の内容は病院の中では把握できていませんでした。病院の方では同意書の看護師が医師のところに代筆してしまいました。



命をつなぐ手術室

し尿等受入施設建設事業を 下水道事業会計で

し尿処理によって下水道会計が経営悪化しないよう、また、費用が下水道加入者の料金に反映することがないよう経営していきます。柏原浄化センターからの汚水水質検査結果は、放流基準を超えるようなことはありませんでした。

菅川地区水源さく井事業

菅川地区は、湧水も少なく今般、バックアップ水源として井戸を使えるところまで整備をし、水脈を狙ってボーリングを実施します。

信越病院の 身体拘束同意書に関する新聞報道

院内の虐待防止、身体抑制防止に関する指針に基づき抑制に関する説明同意書を作成し、説明した医師は直筆でサインすることに変更し、また、院内の虐待防止身体拘束廃止委員会の定期的な開催の中で、抑制等の状況について検討協議を継続します。

長野県町村公平委員会への審査請求事案

町長の許可を得ず県外の病院で診療を継続してきたことで処分命令を出しましたが、不利益な処分というところで長野県町村公平委員会に対し、審査請求し、受理されました。



公共交通について能登町副町長から説明

11月1日～2日の日程で、姉妹都市である石川県能登町への視察研修を行いました。内容は「地域公共交通の取り組みについて」であり、当委員会の今年度の政策提言のテーマでもあります。研修会には、能登町の副町長をはじめ担当職員から、町が抱える人口減少問題、町

総務産業常任委員会

の総合戦略の中の公共交通についての説明（路線バス、住民混乗スクール、予約制乗合タクシー）を受け、活発な質疑応答も行われました。また、能登町議会からは



議場を見学

ぼ全員の議員にオプザーバーとして参加いただきました。この視察が政策提言に盛り込まれるものであります。また、移転新築された役場庁舎及び議場の進んだ各種設備の説明、各委員会室、議員控室にもご案内いただき、姉妹都市としての更なる交流をお互いに確認しました。

先進地に学ぶ ～所管事務調査を行いました～



レインボープランで生ごみを再利用

10月24～25日の日程で、山形県長井市と飯豊町に行政視察を行いました。初日は、長井市役所において「レインボープラン」の説明を受け、現地見学。レインボープランとは、市内中心部で出る生ゴミを集め堆肥化し、市内の農業やガーデニングなどの堆肥として

社会文教常任委員会

消費し、循環型の環境を作り出す試みです。この取り組みで、可燃ゴミの総量が約3割削減され、化学肥料を使わない有機栽培による増収、また最終処分場の延命等のメリットが分かりました。



牛糞の堆肥化で発電もできます

翌日は、飯豊町役場にてバイオマスプランの説明を受け、現地見学。町内の酪農家の協力を得て、牛糞を燃料としたバイオマス発電所を建設し、酪農による異臭（悪臭）問題を解決しつつ町内の多くの施設や工場の電力が賄われていました。信濃町の未来に活かせる施策に結びつかないか、更なる学習が必要と感じました。

信濃町議会の議会報告会 & 意見交換会を開催しました

初めての議会報告会・意見交換会



11月26日、古間の地域交流施設にて、「議会報告会・意見交換会」を開催しました。こうした報告会と意見交換会は、信濃町議会としては初めての試みでしたが、6人の参加者の皆様から、積極的なご意見をいただきました。

第1部 議会報告会

報告会では、議会の仕事や本会議と委員会の役割など、基本的な議会活動の紹介と、「議会だより」184号を基に9月会議での審議・審査の内容を中心に議会の活動を報告しました。

第2部 意見交換会

参加者の皆さんには、2つのグループに分かれていただいで、
1. 子育て支援について
2. 地域の課題について
の2点についてそれぞれの困っていることやしてほしいこと
の意見交換を行いました。



意見交換会報告

意見交換会で出された主なご意見（原本は議会棟に掲示）

- 【子育て支援について】
～困っていること～
○保育園の統合は ○公園がない ○子どもを外で遊ばせたいが獣が来る
○交通手段がない
- ～やってほしいこと～
○保育園と学校を統合しては ○保育士資格を町で助成しては ○雪を使つてのレクリエーションを行つては ○給食センターを学校内に
- 【地域の課題について】
～困っていること～
○有害鳥獣が増えている ○空き家と耕作放棄地の増加 ○議会放送が長い
- ～やってほしいこと～
○公共の防犯カメラを ○冬場のごみ回収を ○高齢者と子どもの触れ合いを ○雪を活かしたまちづくりを

この意見交換会では、様々な視点からたくさんのご意見を頂戴でき、有意義な会にすることができました。今回いただいた、数々

の貴重なご意見は、今後の各委員会の活動に活かしたいと考えております。ご参加をいただいた皆さんにお礼申し上げます。

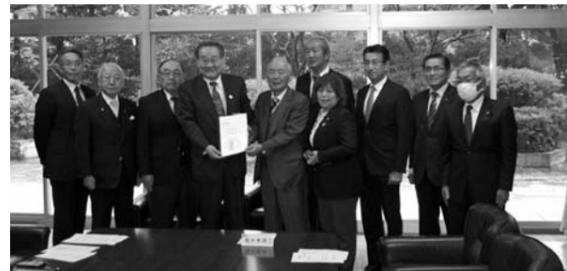
ぎかい活動365日

10月から12月 までの主なもの



11/14 上水内北部協議会研修会

飯綱、信濃町議会議員が一茶記念館に集まり、長野県環境部資源循環推進課を講師に招き「ごみ減量化・リサイクル、産廃物処理」「産廃物処理法における産廃物と有価物」と題して研修会を行いました。



11/17 特別豪雪地帯県要望

信濃町をはじめ10市町村で組織している特別豪雪地帯協議会は、県知事・県議会議長に要望書を提出しました。

12/9 斑尾高原スキー場安全祈願祭

斑尾高原スキー場で安全祈願祭が行われ佐藤議長が出席しました。

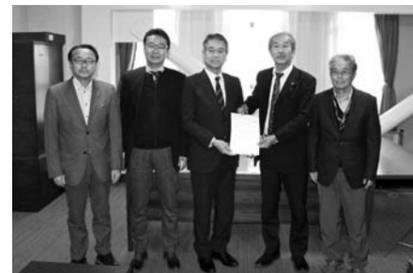


12/16 スキー場開き安全祈願祭

タングラムスキーサーカス・スキー場の安全祈願祭が行われ佐藤議長、伊藤副議長、北村秋敏議員が出席しました。

12/18 ウィンタートライアスロン要望書提出

タングラム斑尾ウィンタートライアスロン in 信州信濃町の実行委員と佐藤武雄議長が鈴木町長に要望書を提出しました。



12/19 自治功労者表彰

町村議会議員10年以上在籍者の表彰がありました。当議会からは、佐藤武雄、永原和男、酒井聡議員が表彰されました。



10/29 流山市民まつり

第45回流山市民まつりが開かれ、酒井聡議会運営委員会委員長が出席しました。



10/10 能登町議会表敬訪問

姉妹都市である能登町の議員の皆さんが信濃町に来られました。意見交換会などを通じて懇親を深めました。



10/14 編集委員会飯綱町視察

議会広報調査特別委員会で飯綱町議会に議会モニターについての視察を行いました。

追悼 森山木の実さん



森山木の実議員が令和5年11月4日に逝去されました。森山議員は、平成21年4月に信濃町議会議員に初当選して以来、4期14年8か月の長期にわたり地方自治の発展に努力されました。平成31年4月からの2年間、信濃町議会議長に就任され、その在籍期間中の令和3年には、議会の最高規範となる議会基本条例の制定に携わりました。

特に、わかりやすい議会、開かれた議会、行動する議会を目指し、議会の果たすべき役割や議員の責務を定め、先頭に立って信濃町議会が進むべき道を示したことは、極めて大きな功績でした。また、平成27年4月から平成28年9月までの間には、信濃町医療体制確立等調査特別委員会委員長として、少子高齢化が進展する中での自治体病院の在り方や医療・介護・福祉が一体となった地域医療体制について、調査・研究の中心的な役割を果たし、必要な知識を得るため、極めて勉強家で住民福祉の向上、教育、産業、環境など多方面にわたりご尽力いただきました。

心からご冥福をお祈りします。

編集後記

寒じる季節になりました。議会だよりが温かいお茶の友になればと思います。皆さんの声を寄せてください。(伊)

～議会広報調査特別委員会～

委員長 伊藤 博美 副委員長 北村 秋敏
委員 湊 喜一 酒井 聡 北村富貴夫 小川敬史
さて、今号はいかがでしょう。ご意見・ご感想・ご要望をお寄せください。 Fax 255-3081
E-mail:gikai@town.shinano.lg.jp

表紙の写真
令和5年10月24日、務台衆議院議員、服部県議会議員、鈴木町長、町関係職員と佐藤武雄期成同盟会長が、国土交通省及び国土交通省関東地方整備局に出席し、野尻バイパス整備促進について要望活動を行いました。

した。要望内容は、野尻バイパス整備促進区間8・7kmの内、未整備区間2・4km幅区間1・1kmについて要望を行いました。今後、事業が順次行われるよう期待します。



こんにちは

でばん わたしの出番です

景観整備に力を入れて…佐藤和憲さんと
高沢でカフェを経営する…松田朕佳さんです。



人との繋がりを大切に

富濃 佐藤 和憲さん

活動などの活動をしてきました。

私は信濃町で生まれ育ち、結婚し子供が生まれ、祖父から続く建設会社に携わり、昨年引き継ぎ、今日に至っております。これまでに、消防団、地区の活動や祭り、ソフトボールチーム、PTA及び子供のクラブ活動、商工会理事、公民館

どの活動も、人との繋がりにより成り立っているものだと思いますし、信濃町の人々はとても親切で、温かみのある人が多いと感じました。何より家族の協力があつて活動に参加出来ている事にも感謝しています。

何気なく、生活していますが、信濃町の自然は大切にしたいなと思っています。仕事柄、野尻湖周辺で作業する事が多いですが、野尻湖、黒姫山、湖周遊道路等々景色が良く癒される所が多々あります。町は、景観整備に力を入れて頂きたいです。

これから人との繋がりを大切にし、人生を楽しめる様努力していきたいと思えます。



雪原に道を引く

高沢 松田 朕佳さん

2024年1月8日。今朝起きると雪が積もっていた。入社1年目、信濃町1年目の従業員が腰

と言った。雪原に道はない。好きに歩けば良い。雪原に引いた一筋を、その日の客人たちは道だと思つて歩く。その一筋を引く楽しさ。

まで埋まりながら除雪をしているのが見えた。私が指示を出すと彼女は「でも道がありません」

土地が人の人格を作るというのはいかがでしょうか。わたしの人格はこの環境に、雪に

よつて作られたもの。毎年冬に確信する。2024年1月9日。また余震。通りすがりの外国人投資家に妙高に売地がないか尋ねられ、妙高が見える黒姫側の土地を進めてみると、絶対に妙高側が良いのだという。もし私に選択肢があるとしたら、どちらを選ぶか、ふと考えてみた。どっちでもいいかな。

ぎかい俳句五七五

「冬」を詠み議会議員もひとひねり

俳句文化の継承を目指して

凍てベルや始発列車に鈍き音

北村 富貴夫

ギター弾くサロンに向かう師走かな

北村 秋敏

スマホ閉じふと見上げれば冬の星

小川 敬史

愛猫がストーブ前で溶けている

片野 良之

元旦の揺れし地面に仁王立ち

佐藤 博一

降る雪や墨絵の如き山の木々

酒井 聡

てくてくと思ひめぐらせ冬の道

永原 和男

スキー場孫泣き笑い初滑り

湊 喜一

黒姫に光り輝く初日の出

伊藤 博美